

大館市教育委員会会議録

日 時 令和 6 年 2 月 2 2 日 (木)
午後 3 時 3 0 分
場 所 大館市立中央公民館
第 1, 2 研修室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及 び 場 所	日 時 場 所	令和6年2月22日（木） 大館市立中央公民館	午後3時30分 第1，2研修室
2 出席委員の氏名				
教育長職務代理人	山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子	
委 員	根 田 穂美子	委 員	小笠原 正 卓	
3 欠席委員の氏名				
4 委員以外の 出席者職氏名	(なし)			
5 出席した職員の職氏名				
教 育 長	高 橋 善 之	教育総務課長補佐	宮 崎 史 人	
教 育 次 長	成 田 浩 司	学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤	
教 育 監	長 岐 公 二	学校教育課長補佐	北 林 香 子	
教 育 総 務 課 長	小松原 功 秀	教育研究所副主幹	山 本 多鶴子	
学 校 教 育 課 長	鈴 木 明	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則	
教 育 研 究 所 長	米 澤 貴 子	中 央 公 民 館 長	外 館 志	
生 涯 学 習 課 長	糸 屋 みさえ	歴史文化課長補佐	篠 村 朋 子	
歴 史 文 化 課 長	小 松 工	教育総務課総務係長	柳 谷 真 希	
歴 史 文 化 主 幹	関 智 仁			
6 会議録署名委員	教育長・山田委員			
7 会 議 書 記	教育総務課 総務係長 柳谷 真希			
8 教育長報告				
(1)	施設整備計画の事後評価について			
(2)	大館市教育委員会の表彰について			
(3)	常陸大宮市からの卒業証書用紙寄贈及び返礼品の贈呈について			
(4)	子どもサミット釜石市訪問について			
(5)	大館市老壮大学修了式について			
9 議 事				
議案第2号	大館市立鳥潟会館に関する条例施行規則の一部を改正する規則案			
議案第3号	大館市民舞伝習館に関する条例施行規則の一部を改正する規則案			
議案第4号	大館市民文化会館に関する条例施行規則の一部を改正する規則案			
協議第10号	大館市北地区コミュニティセンターに関する条例の一部を改正する条例案			
協議第11号	大館市公民館使用条例の一部を改正する条例案			
協議第12号	大館市松下村塾に関する条例の一部を改正する条例案			
協議第13号	大館市放課後児童クラブに関する条例の一部を改正する条例案			
協議第14号	大館市立鳥潟会館に関する条例の一部を改正する条例案			
協議第15号	大館市民舞伝習館に関する条例の一部を改正する条例案			
協議第16号	大館市民文化会館に関する条例の一部を改正する条例案			
協議第17号	令和5年度大館市一般会計補正予算（第13号）案			
協議第18号	令和5年度大館市奨学資金特別会計予算（第1号）案			
協議第19号	令和6年度大館市一般会計予算案			
協議第20号	令和6年度大館市奨学資金特別会計予算案			
10 その他	【マスコミ配布用には記載なし】			
【秘密会】 3月 1日（金）プラザ杉の子（2階白百合の間）16：00				
【定例会】 3月21日（木）本庁舎4階 会議室401，402 15：30				

教育長が教育委員会会議に報告する事項

令和 6 年 2 月 2 2 日

担当課（教育総務課）

報 告 事 項	報 告 内 容
施設整備計画の事後評価について	大館市公立学校等施設整備計画に基づき、令和 3 年度から令和 5 年度の事業として、小学校 3 校、中学校 2 校のトイレ洋式化を実施いたしました。 学校施設環境改善交付金交付要綱第 8 により、この成果の事後評価を、文部科学省に提出いたしますので、別紙様式 2 及び様式 3 のとおりご報告いたします。

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和6年1月25日 成果指標評価
令和6年2月22日開催の本市教育委員会会議にて報告後、市のホームページで公表

(2) 評価の方法

成果指標を設定して、事業の成果を定量的に把握し評価する。
以下の結果(指標)から、事業の成果を定量的に分析・評価する。

【トイレの洋式化率】

〔事前洋式化率〕⇒〔事後洋式化率〕

・有浦小学校	: 38.7%	⇒ 77.4%
・第一中学校	: 28.8%	⇒ 70.0%
・釈迦内小学校	: 38.1%	⇒ 66.7%
・山瀬小学校	: 36.8%	⇒ 78.9%
・東中学校	: 27.1%	⇒ 83.3%
計	: 34.0%	⇒ 75.3%

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は達成できた。
洋式化率の向上により、特に和式を利用できない児童の待ち時間が解消され、児童や保護者から好評を得ている。
また、職員トイレの洋式化率も向上したことで、教職員から高い評価をえており、期待どおりの効果を上げている。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

市内の小・中学校25校の内、小学校3校、中学校2校のトイレ洋式化工事を実施し、教育環境の整備を図るとともに、災害時における避難所としての利用も考慮しつつ整備を図った。

(5) 施設の特徴性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業 区分	整備方針				事業完了 年月日	(実施なかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物 区分	構造 区分	全事業期間 (契約～完成)			
有浦小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R4.5～R4.9	R4.10.12		
第一中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R4.5～R4.9	R4.10.12		
第一中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	屋	S	R4.5～R4.9	R4.10.12		
釈迦内小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R5.5～R5.9	R5.9.21		
山瀬小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R5.5～R5.9	R5.9.28		
山瀬小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	屋	S	R5.5～R5.9	R5.9.28		
東中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R5.5～R5.9	R5.10.10		

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年2月22日

担当課(学校教育課・教育研究所)

報告事項	報告内容
大館市教育委員会の表彰について	大館市教育委員会表彰規則に基づいて、教育の振興発展等に貢献し、その功績が顕著であるものに対して次のとおり表彰します。 【授業マイスター】 5名 ・川田 真一(城南小) ・佐藤 千秋(成章小) ・山田 諭(成章小) ・村井 啓子(第一中国語)・佐藤 朋子(南中 数学) 【チャレンジ授業賞】2校2名 ・日沼 寛太(早口小)6年 特別活動 「中学生に向けて」 ・山本 幸子^{さちこ}養護教諭(有浦小) 幼保小連携 「メディアコントロールは未来(ミライ)コントロール」 【ふるさと授業賞】4校6名 ・代表 谷川原 宏一^{こういち}(成章中) 全学年・総合的な学習の時間「地域防災活動」 ・代表 佐藤 紀博^{のりひろ}(南中) 全学年・総合的な学習の時間 「地域貢献活動『チャレンジ55+(プラス)』」 ・渡辺 幸子^{さちこ}、畠山 真樹子、山信田 有太(有浦小) 6年 総合的な学習の時間 「大館新駅舎開業応援プロジェクト」 ・小松 和樹(城南小) 5年 社会科 「低い土地の暮らし」他 【未来大館市民賞】8名 ・萬田 花歩^{かほ}(比内中2年)「少年の主張県大会最優秀賞」 ・佐藤 翔斗^{しょうと}(第一中3年) ・下山 翔馬^{しょうま}(第一中3年) ・畠山 駿^{しゅん}(第一中2年) ・山内 翔真^{そうま}(第一中1年) 「新鮮な野菜や果物が並ぶ無人販売所の運営」 ・阿部 愛穂^{まなほ}(北陽中3年) ・畠山 愛梨^{あいり}(北陽中3年) ・山下 心愛^{こころあ}(北陽中3年) 「秋田市豪雨災害のボランティア活動」 【子どもハローワーク奨励賞】3名 ・松岡 寛岳^{ひろたか}(山瀬小 6年)15回(体験場所14カ所) ・畠山 愛梨(北陽中 3年)13回(体験場所 3カ所) ・安達 司(桂城小 4年)10回(体験場所 9カ所) 表彰式は、3月1日(金)16時45分からプラザ杉の子で行います。

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年2月22日

担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容														
常陸大宮市からの卒業証書用紙寄贈及び返礼品の贈呈について	今年度も、常陸大宮市から市内 4 校に伝統和紙で作った卒業証書用紙を寄贈していただきました。 大館市からは返礼品として、大宮小学校の卒業生には秋田杉で製作したペンケースを、大宮中学校の卒業生には、同じく秋田杉で製作したペン立てを贈呈しました。 ○ 常陸大宮市から（西之内和紙卒業証書） <table><tr><td>桂城小学校へ</td><td>5 4 枚</td></tr><tr><td>城南小学校へ</td><td>7 6 枚</td></tr><tr><td>第一中学校へ</td><td>1 7 8 枚</td></tr><tr><td>比内中学校へ</td><td>6 9 枚</td></tr></table> ○ 大館市から（秋田杉伝統工芸品） <table><tr><td>大宮小学校へ</td><td>ペンケース</td><td>5 5 個</td></tr><tr><td>大宮中学校へ</td><td>ペン立て</td><td>1 3 5 個</td></tr></table>	桂城小学校へ	5 4 枚	城南小学校へ	7 6 枚	第一中学校へ	1 7 8 枚	比内中学校へ	6 9 枚	大宮小学校へ	ペンケース	5 5 個	大宮中学校へ	ペン立て	1 3 5 個
桂城小学校へ	5 4 枚														
城南小学校へ	7 6 枚														
第一中学校へ	1 7 8 枚														
比内中学校へ	6 9 枚														
大宮小学校へ	ペンケース	5 5 個													
大宮中学校へ	ペン立て	1 3 5 個													
															

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年2月22日

担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容
子どもサミット釜石市訪問について	2月9日から10日の日程で子どもサミットを代表する小中学生11名が岩手県釜石市を訪問し、釜石市の小中学生で組織する「かまいし絆会議」の代表28名と交流しました。 1 交流会のテーマ 『地域をよりよくするために何ができるか』 互いに各校が取り組んでいる活動の紹介や意見交換をしたほか、防災活動についても話し合いました。 2 いのちをつなぐ未来館の訪問 震災の伝承と防災学習を推進する施設を訪問し、震災を体験した語り部の方の講話を聞きました。そして東日本大震災が起こった時に、当時の小中学生が津波から逃れた避難路約1.6キロメートルを歩く追体験も実施しました。 子どもたちは、改めて命の大切さや防災に対する意識と行動を学び、将来の大館のために「自分たちは、何をすべきか」を問い直す機会となりました。 3 参加者 小学5年生3名、中学2年生8名、引率教諭3名、事務局1名 計15名



交流会での発表



津波避難路の追体験

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年2月22日

担当課（中央公民館）

報 告 事 項	報 告 内 容
大館市老壮大学修了式について	去る2月14日（水）、大館市老壮大学の修了式を中央公民館視聴覚ホールで挙行了しました。 この日は、コーラスクラブの講師・畠山清多先生が「音楽とともに」と題して、9人きょうだいの9番目で生まれた人生を、家族の思い出とその時代の歌とお話されました。 講話の後に行われた修了式では、教育次長より祝辞が述べられたほか、学生を代表して田中京子さんから謝辞が述べられました。 今年度は学生100人中、76人に修了証が授与され、佐藤副運営委員長のあいさつにより来年度もまた学びの継続を約束し、和やかな雰囲気の中無事修了式を終えました。 令和5年度 老壮大学 修了式 1. 学生数 100人（当日参加70人） 2. 修了証授与 76人 （全9回中、学習会とクラブ活動5回以上）   

議 事 の 経 過	
	開会 午後３時３０分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と山田委員にお願いします。 会議録について、いかがだったでしょうか。 (「異議なし」の声あり) それでは、承認とさせていただきます。 では、４の教育長の報告事項をお願いします。
各課長	(「(１)施設整備計画の事後評価について」、「(２)大館市教育委員会の表彰について」、「(３)常陸大宮市からの卒業証書用紙寄贈及び返礼品の贈呈について」、「(４)子どもサミット釜石市訪問について」、「(５)大館市老壮大学修了式について」を資料により報告)
教育長	以上５件ですが、６件目として「教育のミライを考えるシンポジウムについて」をお渡ししておりますので、その報告をお願いします。
教育監	(「(６)教育のミライを考えるシンポジウムについて」を資料により報告)
教育長	ご意見、ご質問はございませんか。
委員	お礼でございます。「(４)子どもサミット釜石市訪問について」、私の娘もご一緒させていただきましたが、まずは引率いただいた指導主事始め皆さまには厚く御礼を申し上げます。本当に２日間では足りないぐらいの内容だったようで、本当に楽しんできたという言葉が当てはまるのかなと思いました。 帰ってきてから、今度はデジカメの電池も忘れないでいろいろ写真を撮ってきて、その写真を見せられながら１時間半ぐらいプレゼンテーションされていろいろな勉強になったのですが、２つお伝えしたいことがありまして、まず１つ目は防災センターにならなかった防災センター、実は釜石市に「鵜住居(うのすまい)地区防災センター」というところがありまして、そこに地域の方々が避難されたそうなのですが、そこも津波でやられて１６０人以上の方が亡くなったそうです。 実はそこが解体されて今はもうないのですが、一緒に行かれたサミット推進委員長の校長先生が震災直後に行かれていて、その現場を実際に見ていたそうで、そのお話も含めながらその防災センターの跡について見学できたというのはすごく良かったと、帰ってきてすぐその話をしています。本当に彼女らにとって衝撃的だったそうです。 それに、小学５年生の子と一緒にいったのですが、彼女はその子にどうだ

	ったと聞いたら、道路を歩いて、右側はすごくきれいな建物がたくさん建っているのに左側は古い建物ばかりだった。そこまで津波が来たのだということは今でも実感できるということを言っていました。 そのように百聞は一見にしかずというか、本当に行って各々がいろいろなことを感じてきたのかなと思って本当にありがたかったです。 あと、この「かまいし絆会議」、大館でいう子どもサミットのような団体だそうですが、結構交流の時間を長く持っていて、いろいろまちづくりのことについて話してきたそうなのですが、大館の子たちと釜石の子たち、被災された記憶はなくて周りの方々が被災されて背負ってきたものはやはり違うと思うのですが、彼女が驚いたのは、本当にまちづくりとか街の未来のこととかを自分事のようにみんなが考えている、それがすごいなと思ったと言っていました。 大館の子たちがそうではないのかということそうだとは思いますが、うちの娘が感じたのは、私よりもこの子たちは未来のことを考えている、それを見習って、自分の生徒会活動につなげたいという話をしていましたので、ちょっと今娘は大人と子どもの間に挟まれて生徒会活動もいろいろ悩んでいることがあるみたいで、それについてもいろいろヒントをもらったこともあって、本当に選ばれて参加させてはいただいたのですが、すごくいい体験で、多分彼女の人生のページの中にも大きな1ページになったのではないかと、私も家内も言っていました。 このように、震災後13年経ってもこうやって交流を持っていだけることは大館市民のためにも非常にありがたいことなので、ぜひ続けていただきたいと思います。よろしくお願いします。
教育長	私も報告を聞いたのですが、やはり体感した人でないと書かれない言葉とかがあって、釜石東中から1.5キロの坂道を登って逃げたという、そのとき中学生だった人がガイドさんをしてくれたのです。 その中で印象的だったのが、津波が襲ってきたときに非常にひどいにおいがした、どぶのような匂いがしたと。おそらく海底に溜まっていたような、数百年ぐらい溜まっていたものがそういう匂いを発したのだと思いますが、そういうのは私たちテレビの画面とかから見ていてもわからないことですね。 そのようなお話とか、交流会のときに釜石市の市長さんが来られて、直接いろいろな言葉をかけてくれたと、大館の子どもたちを褒めてくれたという話も聞けて嬉しいなと思いました。
委員	今のお話を聞いて。この事業を始めて十数年ですよ。今回行った中学2年生でも大震災があったときは3歳ぐらいで、それこそ記憶やら実感やらまるでないと思うのです。 やはり、災害は忘れた頃にやってくるということを伝え語り継ぐというのはとても大事ななと思います。 委員の話を聞いて、単に防災意識を高めるというだけでなく、まちづく

教育長	りにも関心を持ったというのがすごい大きな意味だなと思っていて、選ばれた子どもさんたちなので、ぜひ学校や地域にいろいろ伝えてほしいなと改めて思ったところです。 子どもたちの交流はこれからももちろん続けていきますし、実はコロナとかで教育交流、去年の１２月に釜石市の校長先生方、すべての学校の先生方が視察に入りまして、今後ともそちらの交流を続けていきたいという申し出がありましたので、ますます交流が深く、広くつながると思います。
委員	今のお話を聞いて、３．１１のことを改めて思い出しました。本当に子どもたちの交流が今後も続いていくことを祈る気持ちであります。 本当に子どもたちから私たちも元気をいただきますし、これからの未来を子どもたちに託して、子どもたちがさらに大館のことを考えていってくれるのではないかなということをこの報告会で感じました。先生方もぜひ子どもたちを育てて後押しして、子どもたちの成長を促してほしいと思います。 それからあと、私の方からは老壮大学について少しお伺いいたします。 老壮大学は、平均年齢はどれくらいなのでしょう。また、対象者は６０歳以上と聞いておりますが、お伺いしたいです。
中央公民館長	条件としましては６０歳以上の方、市内全域どなたでも入学できるということになるのですが、令和５年度の平均年齢につきまして、ちょっと調べさせていただいて、終わりまでにお答えさせていただきたいと思います。申し訳ございません。
委員	いつでも構いません。ただ、大館市の皆さんは、年齢が高くても向上心が大変高いというかそういうものが高いように思われるのです。いろいろなところに年齢関係なく参加している方も見受けられますし、例えば老壮大学ももちろんですけども学び大学でもお見かけするような感じなのです。 だから、年齢が５０、６０、７０歳であっても意識することなく向上心が高く、また自分をさらにスキルアップしようという意識が高く、子どもたちからも非常に力をもらっているのではないかなという、最近、大人の方々がよく子どもたちのことをよく話すので、「子どもたち頑張っているからなんか嬉しい」という話をよく聞きます。 だから、前はあまり子どものこととか教育に関心がなかった皆さん方が普通に子どもを褒めて子どもから元気をもらおうという言葉聞くものですか、老壮大学、学び大学の中にも皆さんの学びの精神が子どもからも影響を受けているのではないかなというふうにも思うのです。 大変ありがたいことだなという思いでちょっとお伺いしただけです。
中央公民館長	中央公民館の玄関入ってすぐのところで、来年度の新入学生の募集をしております、その中に小さくですが、年齢構成が書いてありました。令和５年度、平均年齢７９．２歳です。一番多い年齢層は、８０歳から８４歳の３

	1 名となっております。
委員	元気な方が多くて、私も元気をいただきます。これからもよろしくお願いいたします。
委員	教育研究所にお伺いします。まずはお礼ですが、本当にこの度、授業マイスター、チャレンジ授業賞、ふるさと授業賞、未来大館市民賞、子どもハローワーク奨励賞を表彰していただきありがとうございます。皆さんにとって励みになるものだと思いますので、ぜひ我々も一緒してお祝いしたいと思います。 その上でお伺いしたいのですが、退職等いろいろあるのでしょうか、授業マイスターって何人ぐらいいらっしゃるのでしょうか。
教育研究所長	スタートは平成 26 年度からで、令和 4 年度までで 41 名を数えております。その中で今も学級担任・教科担任として活動しているのが 16 名となっております。ただ、またいろいろな場所に巣立って行ってしまってメンバーが減ってしまうので、新たなマイスターがきてくださることを期待しています。
教育長	管理職になった方は含めていなくて、担任ができるといったそのような数字です。
委員	我々から見ていて、その授業マイスターの先生方はたくさんの師範授業をしなくてはいけなくて大変だと思うのですね。そのほかにもたくさんのやりがいがあって、それが皆さんのスキルアップとかにつながっていいかと思うのですが、ここであえてお伺いしたいのは、先生方にとって何か利点といいますかご褒美的なものがあるのか、これから何か起こり得るのかというのを伺いしたいと思うのですが、今聞いてよろしいでしょうか。
教育研究所長	マイスターの方々に負担にならないように、A 班・B 班というふうに分けていまして、今年度授業提供してくださる先生方、そしてもう半分は夏の研修会に来て、若手と一緒にいろいろな話を相談に乗ってくれたりするという研修会がありまして、そのように分けて隔年にしてやらせていただいています。 その授業に参加して終わりではなく、その後にミニ研修会というのをやっているんで、若い先生方と話をしているうちに熱い思いがまたそこで湧き上がってきて、自分が教師になった時のことを思い出したり、そしてまた若手から刺激を受けたりして、お互い「Win - Win」といいますか、そのような研修会となっています。
教育長	何かリターンみたいなものがあるのかというお話ですが、それが給与等に

	反映したり、それがあから管理職になりやすいとか、そういうことは一切ありません。 考え方として、教師にとって授業というのは本務ですので、それを磨き上げるというのはやはり教師の生涯の仕事だと思います。 だから、管理職云々ではなくて、なかには一教員として最後まで自分がやりたいという先生もいらっしゃいますし、そういうところを附属物なしで純粋にその授業力を評価していくということで始めたので、そのような基本でやっております。
委員	わかっていたつもりですが、よくわかりました。 民間の経営者として見るとどうしてもそういう見方をしてしまうので、反省しています。皆さまのその崇高な理念に私も学んでいきたいと思います。ありがとうございます
委員	授業マスターもチャレンジ授業賞も大変素晴らしいのですが、ふるさと授業賞というか各学校での主体的な取り組みを教育委員会が後押ししているというのがいい取り組みだなと思っているのですね。各学校でそれぞれが自分たちの取り組み、主体的な取り組みをこのように評価していただくということ、これ非常にいいなと思って拝見しておりました。
教育長	1つは作品コンクールを商工会議所さんと共催という形でやっているのですが、あくまで作品だということで、活動的な全体のものを評価するという形が一番良いのかなというように考えてのことでございます。 あと、「未来大館市民賞」は、Aさんについては皆さまご周知のとおりでございますが、第一中の〔無人販売所の運営〕というのは本当に画期的なことでございます。特に特別支援学級の子どもたちということでもなかなか社会に入っていくにくいような状態が今までありましたし、逆にこれからもっともっと社会に踏み込んでいく、社会も受け入れていくというような心のバリアフリーというまちづくりとしても非常に大きいという評価です。 それから北陽中学校の3年生たちの秋田市豪雨災害のボランティア、これ実は教育委員会の方で情報をつかんでいなくて、去年7月の秋田の豪雨災害の後、ボランティア募集したときに生徒たちが自主的に申し込んで秋田まで出かけてお手伝いしてきたのだそうです。 2年前に沼館地区が水没したときに有志が入ってお手伝いしたのですが、そのときに経験した子たちなのだそうです。 そういう形で自主的にそういうことができたという、子どもたちの成長だなと感じているところです。 褒めてあげてください。
委員	これは学校が介在していなかったということなのですか、すごいですね。
委員	せっかくの機会なので、また釜石の方にちょっと戻らせていただきたいの

	ですが、先ほどのどんな状況だったのかなというようなことをちょっとお聞きしたかったのですが、教育長の話とか委員の話を聞いて、まずは素晴らしい会だったのだろうというのが本当に手に取るようにわかって、よかったなと思っています。 その反面、大館の子どもたちはどんな話を、どんな発表をしたのかなというところにちょっと興味があって、その辺、何かしら情報があれば教えていただけるとありがたいのですが、お分かりになる範囲で結構ですので、よろしく願いできればと思っています。
委員	それについても娘から聞いてきましたので、私の方から報告を。 それぞれの中学校で、子どもサミットの中で取り組んでいる内容をそれぞれプレゼンをしてきたそうです。例えば、東中学校だと今ちょっと問題になっていますがダンスプロジェクトだとか、あと、学校の周りのクリーンアップとか、うちの娘は田代中学校の生徒会長と一緒にだったのですが、田代中学校の内容まではちょっと聞けなかったのですが、もっと深く地域と関わってお年寄りといろいろ作ったりとかそういう活動をしていることを紙新聞みたいにプレゼンをしてきたそうです。他の学校もそうだとっていました。
委員	こういう形で子どもさんたちがお互いに情報交換するというのが、釜石の子どもたちに影響を及ぼしているだろうし、大館の子どもたちも影響受けてきたと思うので、こういう「Face to Face」で続けていけるとそれなりの刺激がお互いにあるというのは本当に望ましいことだと思いますので、今後も続けていけばいいなと思いました。ありがとうございました。
教育長	引率した指導主事からの報告だと、内容的にもいろいろですが交流して大館の子どもたちの発表内容と発表の仕方が極めて洗練されていったという、受け答えも自分の言葉で話しますし、非常にそれが際立って。 釜石市の子が駄目だということではなくて、本当に大館の子たちのそういう力がついていることを実感したという話をしていました。だからこそ、釜石の市長さんがそれを参観されてお褒めの言葉をくれたと。
委員	やはりその姿勢といったものが心を打つのでしょうかね。大館の子たちはそういう子たちが多く育ってきているのだなというふうに思いました。ありがとうございました。
教育長	報告については、よろしいでしょうか。では、議事に入ります。 14件のうち(1)から(11)まで説明願います。
各課長	(「(1)議案第2号大館市立烏潟会館に関する条例施行規則の一部を改正する規則案」、「(2)議案第3号大館市民舞伝習館に関する条例施行規則の一部を改正する規則案」、「(3)議案第4号大館市民文化会館に関する条例施行規則の一部を改正する規則案」、「(4)協議第10号大館市北地区コミュニティ

	センターに関する条例の一部を改正する条例案」、「(5)協議第 1 1 号大館市公民館使用条例の一部を改正する条例案」、「(6)協議第 1 2 号大館市松下村塾に関する条例の一部を改正する条例案」、「(7)協議第 1 3 号大館市放課後児童クラブに関する条例の一部を改正する条例案」、「(8)協議第 1 4 号大館市立烏潟会館に関する条例の一部を改正する条例案」、「(9)協議第 1 5 号大館市民舞伝習館に関する条例の一部を改正する条例案」、「(1 0)協議第 1 6 号大館市民文化会館に関する条例の一部を改正する条例案」について、資料により説明)
教育長	以上 1 0 件の説明でしたが、御質疑ございましたらお願いします。 前にも説明した件でございますので、「承認」という形で進めさせていただきます。 それでは、続きまして(1 1)から(1 4)になります。予算関係ですが、説明願います。
教育次長	(令和 6 年度の当初予算案について全体の概要を説明)
各課長	(「(1 1)協議第 1 7 号令和 5 年度大館市一般会計補正予算(第 1 3 号)案」、「(1 2)協議第 1 8 号令和 5 年度大館市奨学資金特別会計予算(第 1 号)案」、「(1 3)協議第 1 9 号令和 6 年度大館市一般会計予算案」、「(1 4)協議第 2 0 号令和 6 年度大館市奨学資金特別会計予算案」について、資料により説明)
教育監	
教育長	ご質問等ございませんか。
委員	6 年度の当初予算について、生涯学習課にお伺いします。 1 0 款 4 項 9 目の放課後児童健全育成事業に「備品購入費 エアコン(有浦 遊戯室)」とありますが、これは我々が前に見に行った児童館にエアコンが付いたと理解してよろしいでしょうか。
生涯学習課長	はい。付くことは付きました。ただ、金額的なところや規模、出力の問題でいきますと十分に冷えるというところまでのものを付けることはできないのですが、2 台つけて、まずこれまでよりは過ごしやすい程度になります。
委員	具体的にいくらぐらいでしょうか。
生涯学習課長	1 台 2 9 畳分位の家庭用のものなのですが、最大出力のものだと聞いております。金額的に申しますと、1 台 3 6 万円程度のものを 2 台です。
委員	今年の夏も暑いと言われておりますので、ありがたいと感謝申し上げます。
委員	同じく令和 6 年度予算の概要についてですが、学校教育課の「おおだて型

	教育発信事業」についてちょっと教えてください。予算内容「○報酬 会計年度任用職員（教育ツアコン、アテンダント）報酬 ほか」の備考欄に「地域おこし協力隊」とありますが、恥ずかしながら、職務、業務、その辺の理解があいまいなので、具体的に誰がどんなお仕事をしているのかを教えてくださいたいです。
学校教育課長	まずこちらに地域おこし協力隊として来る方の地域要件というのがあり、大都市から大館市に来る方が対象となりまして、地域おこし協力隊組織は特別交付税の対象となっております、この事業では隊員2名を募集していますが、現在は1名しかおりません。 教育ツアコン（＝「教育ツアーコンダクター」）、アテンダント（＝「教育アテンダント」）と書いていますが、募集要項としては、教育ツアコンには教育交流等の受け入れに関する事務を担当していただいて、アテンダントといったしましては教育視察の受け入れに関しての事務をしていただいております。ただ、現在1名しかいませんので、両方一緒に1名でやっていただいているという状況で、採用は誰でもいいということではなく、地域要件という縛りというか、その要件に合った人に来ていただくということで、なかなか人が見つからない状況で、予算を減額したというのもあるのですが、その分でちょっと1名見つからない状況です。
委員	一応2名の予定でいるということでしょうか。
学校教育課長	地域要件を満たす前提で、2名の予算措置しております。
委員	近辺の在住の方がやるというのは駄目なのですね。お金の出所として。
学校教育課長	この地域おこし協力隊は、大都市圏から地方への流れを創るといった施策の一つで、過疎地域に居住している方については、地域おこし協力隊としての地域要件に合わない形になります。
教育長	地域おこし協力隊でないと駄目だということですか。
教育次長	予算的に地域おこし協力隊は補助が出ますので、いわゆる市の一般の予算でコーディネーターを任用できるのであればいいのですが、こういう国の予算を活用して今回のツアコンとアテンダントを任用するというそういう活用の仕方で行っていて、地域おこし協力隊でなければならないということはないです。予算上、財源をうまく活用した結果、こういう形で任用しているということです。
教育長	そこには、前に2人いたこともあるのです。充当していたこともあったのですが、今は1人しかやっていません。

委員	ただ、今年度には1200を超えた交流なり視察なりが入っていますので、やはり2人いるといいなと思います。 もう1件、給食管理費の「物価高騰対策事業費」です。 給食費の補助金ということで、ありがとうございます。各家庭で月当たり数百円の負担になるかと思うのですが、実際のところは30円アップでもなかなか厳しいのではないかなと思うのです。大変だと思いますけれども、質も量も満足できる基準の提供ということで、よろしく願いしたいと思います。
学校教育課長	昨年、学校給食運営委員会にセンター長、自校式の校長先生2人、栄養士の方にも出ていただき、米、牛乳、パン、副食として肉、魚、野菜が今現在どれくらい上がっているのか、今後物価上昇が収まればいいのですが下がることはもうないと思いますので、その分来年度、昨年度と今年度20円の補助を出しているのですが、現状では20円では厳しいという声をいただき、30円の補助で落ち着いたところでありますので、これ以上上がらないことを願っているのですが、来年度1食当たり30円の予算措置しております。
委員	もう1つだけいいですか。学校教育課にお伺いします。 「校務支援事業」について、校務支援システムのリースの組み替えになるのでしょうか。以前からお話しいただいておりました県のシステムにのるかどうか、その時期的なものについて今の見通しを伺いできればと思います。
学校教育課長	現在の校務支援システムのリースは、今年の8月で切れます。 ただそのリース、今すぐ県の校務支援システムに入ってやるというのは絶対間に合いませんので、その分ちょっと契約の延長ということで、来年度予算で9月から来年の3月までをまず延長させていただきます。その後の見通しとして、現在県の方で契約業者が決まり、「C4th(シーフォース)」というシステムですので、大館市が次に入るとすれば、今も先生方が使っているものなので入りやすいのかなと思っています。 ただ、様式は他の市町村が入るので若干変わるかもしれません。 これが実際に県の方で契約した業者と今後大館市が話し合いをして、大館市が入りたいシステムはどれくらいの規模なのか、教職員の人数やシステムを使う数、内容などを話し合って予算化したいなと考えています。 それがどれくらいなのかは、県の方でも今決まったばかりなので、業者とまだコンタクトがとれず、大館市が希望するシステム内容の協議を新年度に入ってからと言われましたので、その辺協議しながら進めて、7年度以降になると思います。
委員	わかりました。ありがとうございます。
委員	令和5年度の歳出予算の概要のところでお聞きしたいのですが、釈迦内公

教育総務課長	民館改修工事ほか１件の減額ということで１，０００万円の受け差とお示しあったのですが、１，０００万円は結構な額だという気がしますので、内容的なもの、理由がわかればいただけると助かります。 今回だいたい１，０００万円の請け差が出ましたが、工事本体そのものが２つ合わせると１億８，０００万円、釈迦内、花岡それぞれほぼ同じぐらいの額でして、大体５００万円位ずつの請け差になっていますので、全体からいくと１割にも満たない分の請け差ということで、許容範囲だと考えております。 額をみると１，０００万円と確かに大きいのですが、工事自体が大きいものですので、思ったよりも屋根の方の補修にかからなかったとか、そういった部分が積み重なった結果、安くできたということです。
委員	承知しました。ありがとうございます。
教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。 なければ、承認という形でよろしいでしょうか。 はい、ありがとうございます。 それでは、「その他」に入ります。
中央公民館長	(「二井田公民館 文部科学省第７６回優良公民館表彰受賞」を口頭報告)
生涯学習課長	(「放課後健全育成事業と子ども教室事業の所管の違いについて」口頭説明)
教育総務課長	(「来月の開催予定」について)
教育長	委員の皆さまから何かございませんか。 それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
会議終了時刻 午後５時１５分	